

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス プレジール		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 26日		～ 令和8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 26日		～ 令和8年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個室の部屋が多いため、個々に合わせた個別対応ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状態に合わせて活動を選択できるように、要望を聞きながら落ち着いて過ごせるよう支援している。 ・個室対応時は職員が対応できるように、職員間で連携を図りながら支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の選択肢を増やし、様々な活動に集中して楽しく取り組めるように環境設定を行う。 ・子どもたちの要望を聞きながら、活動を設定する。
2	異年齢や障がい特性の異なる児が同じ空間で過ごすことで社会性や協調性を養い、多様性を深めることができる。	集団での活動を通して一緒に取り組める機会を作り、コミュニケーションを深めることが出来るように促している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールのある遊び等を行い、他児との関わりを深める活動を設定する。 ・子ども同士が理解し合えるように、職員が声かけや関わりを行う。
3	同法人内にB型作業所があるため、高校卒業後も一貫したサポートを行うことができる。	ご利用者の特性や支援方法について、実習期間中や就労後も一貫した支援が行えるように職員間で情報共有を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して移行できるように、事業所間における情報共有等の連携を強化する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーになっていないため、移動時や介助時の困難さがある。	民家を改築しているため、家庭用の設計になっており、玄関や部屋の出入りに段差がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・段差がある場所にはスロープや手すりを設置し、スムーズな移動ができるようにします。 ・段差に滑り止めや目印を付ける等、環境整備を迅速に行えるようにします。
2	広い部屋がないため活動が限られている。	<ul style="list-style-type: none"> ・民家を改築しているため、広いスペースの部屋がない。 ・柱や収納棚があるため、活動の範囲が限られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備を行い、活動スペースの確保に取り組む。 ・地域の公園や、公共施設を利用して活動を行う。
3	保護者同士が交流できる機会がない。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策のため、人が集まる行事を控えていた。 ・開所日が平日のため、行事の企画が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や家族同士の交流が行えるように、時期や感染状況に考慮しながら行事計画をする。